



# 遠藤れい子ひまわりレポート



○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3丁目1-3 ☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443  
○県議会執務室 〒950-0965 新潟市中央区新光町4-1 県議会内 ☎025-280-5475



ホーム  
ページ



Twitter



Facebook

ますます続く“値上げラッシュ” 無為無策の岸田政権では暮らしは守れない！

## 「暮らし守って！」と声をあげましょう

10月値上げされる食料品7千品目。  
市民の生活苦に有効な手立てを！

円安による物価高、実質賃金の低下で苦しい家計のやりくりが続きます。岸田政権は住民税非課税世帯に1世帯「5万円給付」するだけで、物価高は放置したまま。10月から75歳以上の医療費窓口負担も2割にして、さらに負担を増やそうとしています。一方で、「**国葬**」には**16億円** 安倍元首相の「国葬」は岸田首相が閣議決定のみで実行。しかし、国会審議は行われておらず「憲法違反」



### 寺泊でも切実な声

9月14日、遠藤れい子県議は寺泊地域を訪問し、地域の皆さんの要望をお聴きました。「物価高騰に対する生活支援を」「コロナ感染対策の強化を」「燃料費等の高騰で苦しい経営に県の独自支援を」等、つぎつぎに。

### 統一地方選勝利に向けたつとめ

とき：10月8日（土）14：00～

会場：ハイフ長岡

\*田村智子 参院議員・党政策委員長

\*遠藤れい子 県会議員

\*市会議員選挙予定候補



「新潟県の活断層帯」の資料

との声も。全国紙やマスクなどの世論調査では軒並み「国葬反対」が過半数を超えています。また、**防衛費は5兆円から11兆円の2倍化へ** 同じく、防衛費は具体的金額を示さずとも予算要求を認めるという「暴挙」。**臨時国会開いて対策を** 今求められるのは根本的な物価高対策です。「臨時国会を開いて、国民の生活を守るための緊急対策を」の声をあげましょう。

### 新潟の地震被害想定

遠藤県議、学習会に参加

9月23日、新潟市内でいがた自治体研究所主催の「地震被害想定」の学習会が開かれ、調査報告をまとめた下部(うらべ)厚志新潟大学教授が講師をつとめました。



9/23 発言する遠藤県議  
葉だけが  
約8千人  
定死者数  
下部教授は、想定死者数

県の調査報告は、東北地方最大級の活断層と言われる「長岡平野西縁断層帯」を震源とする地震による想定被害は、死者約8千人、全壊建物約17万棟、避難者(最大)約47万人と予想され、東日本大震災の全壊戸数12万8千7百棟を大きく上回る。

県議会での発言を紹介  
遠藤県議は、6月県議会で「地震被害想定」をとりあげ、県民への周知徹底をはかること、古い建物の耐震化で被害は減らせること、そのためには「耐震断熱リフォーム」支援制度の創設を検討するよう求めたことなどについて発言しました。